

第37回 大同生命 優績営業社員表彰式

平成16年5月21日、京都国際ホテル「二条の間」において、第37回大同生命優績営業社員表彰式が挙行された。



式は小坂文夫専務理事の司会で始まり、田島博昭副理事長の開会のことばの後、上田寛理事長が「日頃、営業職員の皆さんはいろいろな保険商品について、保険のプロとして、私たちの関与企業にご提案いただき、心からお礼を申し上げます。京税協と大同生命とのつながりは30年になり、これからも益々事業推進に取り組んでいただきたい」と挨拶した。

大同生命側からは永田紀近畿地区営業本部長が「このような立派な表彰式を挙行していただいたということ、営業職員の皆さんは叱咤激励を受け、平成16年も頑張れよと言われているんだという意味合いで受け取ってほしい。そして、先生方の関与先様の企業防衛・継続的発展を目的として明日からの仕事に邁進したいと思います」と挨拶した。

続いて、林伸三郎副理事長の経過報告の後、上田理事長から受賞者への表彰状並びに副賞贈呈があり、受賞者を代表して最優秀賞の桐本博之氏が挨拶した。

受賞者は次の通り（敬称略）

- 桐本 博之（14回） 中山世利子（2回）
- 小坂 良和（2回） 井上 啓子（初回）
- 池浦 佳美（3回） 吉田 梢（25回）

石井重基京都支社長から謝辞があり、石原豊副理事長の閉会の挨拶で表彰式は終了した。

このあと、お楽しみの懇親会では、ビートルズの演奏と抽選会があり、これから更なる前進に向けての英気を養った。（編集委員 有田行雄）

お礼のことば

本日表彰を受けました社員一同を代表致しまして、一言お礼のことばを申し上げたいと思います。

この度は、私達の為に、このような立派な表彰式を挙行して頂き、また今日は、表彰状と副賞を、上田理事長より、励ましのお言葉と共に、頂きました事、喜びと共に、厚く御礼申し上げます。

誠に有り難う御座います。

本日表彰を受けましたのは、6名の社員で御座いますが頑張ったのは全社員であります。私達は幸運にも今期に結果を出す事が出来たものであり、本日の表彰は、全員にして下さったものと受け止めております。あらためて、全営業社員を代表致しまして厚く御礼申し上げます。

ほんとうに有り難う御座います。

私は京都税理士協同組合総合事業保障プランの推進をさせて頂く様になって、京都税理士協同組合と大同生命の良き関係を理解し、又、その制度や商品について勉強し、京都税理士協同組合総合事業保障プランの素晴らしさに惚れ込んで販売推進をさせて頂いております。

先生方より顧問先の企業をご紹介していただき、訪問し、見直しなどのお手伝いをさせて頂く事が多いのですが、其の時の時にも感じるのは、先生方へのお客様の信頼の大きさです。

『この信頼を裏切ってはならない！』という責任感とプレッシャーに後押しされて、毎日の営業活動をさせて頂いております。

京都の企業も好況の兆しは感じられる昨今ですが、好況であれ不況であれ必ず、その状況に適応した提案が出来る商品、これが『京都税理士協同組合総合事業保障プラン』であると思います。

内輪ごとで大変恐縮ですが石井支社長より、好況の企業にのみ販売する制度商品では決してない、そして一生懸命ではなく、一所懸命頑張るように指導を受けております。又、松岡部長、竹田部長、各機関長、全スタッフが具体的にその指導を紐解いて社内研修や同行訪問、資料作成と総力で販売活動を支援してくれています。

この指導を受けた今、私の営業かばんの中には一生懸命売る保険即ち一生かかって何時か売る保険ではなく、今売るプラン、今売れる保険、今売らねばならない制度商品に100パーセント様変わりしております。

このかばんを持って一日一日を懸命に京都税理士協同組合の先生方のご指導とご支援の下に営業活動をさせて頂きたく思います。先生、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

大変申し遅れまして恐縮で御座いますが、京都税理士協同組合上田理事長はじめ全副理事長、全専務理事、全常務理事、全理事、全役員、全組合員の先生方、事務局長はじめ全局員様、並びにご家族の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

薄学な私がこれ以上いくら言葉を並べましても、本日の、この感激と感謝の気持ちを表現するのは不可能であります。

それよりも、これからの仕事への熱意を、今、この場で宣誓をさせて頂き『本日のお礼のことば』に代えさせて頂きたく思います。よろしくお願ひ致します。

宣誓

私達、大同生命京都支社営業社員一同は大同セールスマンシップに則り、人と企業を愛し、敬い、真実を尊び、又如何なときにも、全てに感謝の気持ちを持って取り組み、京都税理士協同組合の先生方の御指導と御支援の下に、保有契約高三千億円突破を早々の通過点とし、だいたすきな、大好きな京都のまちを、人を、企業を『京都税理士協同組合総合事業保障プラン色』に、見事に染め上げるべく、本日の受賞を何よりの励みとさせて頂き一所懸命頑張る事をここに誓います。

平成16年5月21日

大同生命保険株式会社京都支社営業社員代表
第四営業課 桐本 博之

＝チャリティーゴルフコンペ開催＝

VIP君・ランちゃん チャリティーゴルフコンペ

平成16年11月2日(火) 場所/城陽カントリー倶楽部
奮ってご参加ください!! お待ちしています☆

京都税理士協同組合厚生会会員のみなさまへ

総合事業保障プラン総合型・L

大同生命の定期保険 AIUの普通傷害保険

90歳までの長期保障、
保険料は一定。
日本人の平均寿命をこえる
90歳までの長期保障。



入院、手術の治療にも安心。
病気がケガで入院および手術を
された場合でも
安心して治療していただけます。
さらに、長期間の入院、
成人病の場合の入院も
保障が得られます。(大同生命)

最高6億円の大型保障。
重責にふさわしい大型保障で、
事故死亡の場合最高6億円の大型保障です。
(大同生命3億円・AIU3億円)



海外の事故・病氣も保障。
海外にも安心してご出張、
ご旅行していただけます。

退職金、功労金などの
財源として利用。

万が一死亡された場合に、
保険金を死亡退職金や弔金としてご利用になれます。
また、中途でおやめになる場合でも定期保険の解約払戻金および積立配当金が受取れます。(大同生命)

*解約払戻金は、お払込保険料累計額を下回ります。また、ご契約時および保障期間満了時には0になります。
*加入資格については担当者にご確認ください。
◎ご契約に際しては、所定のパンフレットへご契約のしおりを必ずごらんください。

〈引受保険会社〉



京都支社税理士共済営業部/ 京都支店/京都市中京区烏丸通三條下ル饅頭屋町595
京都市中京区烏丸通り三條下ル饅頭屋町595-3 (大同生命京都ビル7F)
TEL 075-256-7102 TEL 075-223-1651

【F-16-1030(平成16年4月23日)】

法人・個人事業主のお客さまに

京銀 ビジネスカードローンR

ご融資極度額 500万円・300万円

ご融資期間 最長2年以内

◆担保・保証人は不要!

(法人のお客さまの場合のみ代表者を保証人とさせていただきます)

◆インターネットEＢの活用で、お借入れ・
ご返済の手続きが可能!

◆急な資金需要があっても安心!

詳しくは下記のフリーダイヤルまでお気軽におたずねください。

飾らない銀行



http://www.kyotobank.co.jp/

ビジネスローンセンター

0120-075-806

受付時間:9:00~17:00(月~金)
※ただし銀行の休業日は除きます。

京税協トレッキングクラブへのお誘い

会長 北條 巖

このたび「京税協トレッキングクラブ」が、組合「趣味の会」の一つに正式に認可されましたことを紙面をもって御報告させていただきます。

当クラブ発足に際しては、森金次郎先生、上田寛先生をはじめとして、多くの先生方のご賛同の賜と関係者一同感謝申し上げます。

我々税理士は職業柄、日々の業務や、関連団体の奉仕活動等に追われて、つい車や電車で移動することが多く、あまり歩く機会が少ない方も多いことと思われれます。ゴルフ、テニス等スポーツを楽しむのも、心身のリフレッシュにつながるものですが、一方澄みきった青空のもと、空気のおいしい近隣の山間を歩くと云うのも、健康の増進に最も簡単で誰にでもできることとして、本年世話役の先生方のご尽力により当クラブが発足いたしました。



今日までに次のとおり実施いたしました。第1回は1月18日銀閣寺より大文字山経由で大津の三井寺まで、第2回は4月3日(土) 苔寺から桂坂展望台-杵掛山-王ヶ辻-みすぎ川-如意寺-JR馬堀駅(通称唐櫃越)まで約13KM余、第3回は5月16日(日)京福沿線ノ瀬駅-貴船山-滝谷峠-貴船口への予定でありましたがこの日だけは生憎雨のため中止となりました。

第4回は7月11日(日)快晴で、JR高槻駅よりバスで少し移動してから神峰山寺-本山寺-ポンポン山-釈迦岳-善峰寺バス停まで約12KM。このときは暑い日ではありましたが、稜線では心地よい涼風にふれ、昼食の弁当も水筒のお茶も格別に美味しく、私にとってはややハードかなと思われる

コースでしたが、全員アクシデントもなく無事に目的地に着き、その達成感がさわやかさと充実した気分を味わえることができました。

ただ下りが急な坂道のため明るく日、足のふくらはぎに少しはりを感じたぐらいで、どうともなくトレッキングの楽しさを改めて実感いたしました。

このクラブの参加者は先生ばかりでなく、同伴者としてご家族、友人、知人の方も参加できますので、お気軽にお申出いただきますようお願い申し上げます。

このような野、山歩きは何としても安全に、一人の落伍者もなく、楽しく行動するのが目的ですので、時間に余裕をもって、ゆっくりとしたペースで進むことが容易に参加しやすいものと考えております。当日は団体傷害保険も掛けて、またお互い助け合いの精神で親しい仲間意識が醸成されることは間違いないものと思っております。

次回は9月に予定しておりますので、スケジュールをご希望の先生は、次の世話役まで御連絡下さればご案内申し上げます。御参加のほどお待ち申し上げます。

世話役	TEL	FAX
北條 巖	493-2350	492-8560
有田 行雄	451-5178	431-7215
二股 茂	702-7002	702-7001
間嶋 利行	211-1790	211-2148

◆ 総会のご案内 ◆

日時 平成16年9月3日(金) 午後6時
場所 京都税理士会館 302号室



◆ 京税協トレッキングクラブ予定表 ◆

第5回 2004.9.26(日)

◎金勝(こんぜ) アルプス

琵琶湖の南東にある湖南アルプスの一部で、滝・巨岩・奇岩・磨崖仏などまさに別世界。

第6回 2004.11.7(日)

◎権現山・蓬萊山

全山紅葉のビワコバレー。神秘的な雰囲気の小女郎ヶ池。琵琶湖を眼下に大パノラマ。

第7回 2005.1.23(日)

◎剣尾山(けんびさん)・横尾山

大阪府下の山でも山深く、かつての修験場の名残も。軽アイゼンで雪山気分を満喫。

京税協インターネットロゴ決定!!

21世紀の協同組合の在り方として、IT社会にも対応できるネットワークのつながりを表現している。税理士を表す中央のZを基点にして、京都と協同組合を表すKが円滑に機能する様子を表現している。



※現在のところインターネット上のみ
使用します。

京税協のウェブサイトも開設から5年を超え、アクセス数も年間延べ7600件と開設当初の3倍を超えるまでに至りました。これも、偏に組合員の皆様をはじめとする関係各位のご協力の賜と、情報化推進委員会としても感謝いたしております。

今後の更なる発展、充実を目指して、デザインや機能の向上を図るとともに、インターネット上にある無数のウェブサイトの中で、京税協のサイトを強くアピールするために、新たにシンボルマークを採用することにいたしました。

専門のデザイナーから提示いただいた十数点の候補について、編集委員のご協力も仰ぎながら検討を重ねた結果、最も支持の多かったこのマークに決定いたしました。全体に、シンプルでありながら、人の和をイメージする円を基調とした、未来的なマークだと自負しております。

今後、京税協サイトのシンボルマークとして活用していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(情報化推進委員長 太田 克)

一泊旅行

写真コンテスト



秘湯 古湯温泉

平成16年4月18日(日)・19日(月)



優秀賞 東山支所 藤田 忠



最優秀賞 右京支所 石原 牧

地区連絡部門では、去る4月18日・19日の一泊旅行「秘湯古湯温泉」の旅行写真コンテスト審査会を6月15日に行い、作見蔵市副理事長・吉澤俊二専務理事・小坂文夫専務理事・舛本克己地区連絡委員長・井上玲子編集委員長、合計5名の関係役員が集まり厳正に審査を致しました。

今回の旅行は、あいにく雨にたたられ撮影のチャンスが少なかったため、応募数が昨年より少なく、府下各支所から13名(26点)の応募がありました。その中で、最優秀賞は、右

京支所の石原牧先生の作品が輝かれました。また、東山支所の藤田忠先生が優秀賞を受賞されました。続いて、上京支所の有田徳五郎先生・左京支所の木村正先生・宇治支所の豊田浩志先生・峰山支所の引野稔先生が入賞されました。

この表彰は、7月27日開催の第32回通常総会懇親会の席で行われました。受賞者の皆様おめでとうございます。

(敬称略)

= 応募者一覧 =



入賞 宇治支所 豊田 浩志



入賞 左京支所 木村 正



入賞 上京支所 有田徳五郎



入賞 峰山支所 引野 稔

支所	氏名	応募枚数
上京	有田 徳五郎	2
"	近藤 明夫	2
"	澤村 邦雄	2
右京	石原 牧	2
"	石原 豊	2
左京	木村 正	2
東山	藤田 忠	2
宇治	豊田 浩志	2
福知山	出野 公人	2
舞鶴	橋本 彰二	2
"	片又 昇	2
峰山	林 同来	2
"	引野 稔	2
	計	26

シリーズ

=丹波・丹後=

りょうたん
たんぼうもと い せ この じん じゃ
天橋立・元伊勢籠神社

編集委員 石原 牧

今回は、股覗きで有名な天橋立を訪れた。京都からは特急列車で約2時間の旅。北近畿タンゴ鉄道あまのはしだて駅で下車。日本三文殊のひとつとして知られる知恩寺をぬけ、汽船にて鴨と遊びながら約15分。天橋立の松林の中を漫ろ歩くなら小一時間といったところか？一の宮に到着するとすぐ目の前がお伊勢様のふるさと元伊勢籠神社である。その歴史はあまりにも古く神代までさかのぼるといふ。天照大神は籠神社で24年間祀られ、各地を巡幸の後、伊勢にご鎮座になったと伝えられている。

【元伊勢とは？】

そもそも伊勢神宮は、天照大神をお祭りする内宮と、豊受大神をお祭りする外宮から成りたっています。両大神は、伊勢にご鎮座になる前はそれぞれ別の場所にお祭りされていました。

豊受大神は、神代の昔、籠神社の奥宮・真名井原に天下られ、一方、天照大神は、もともと大和国の天皇の宮殿でお祭りされていました。

天照大神は、第十代崇神天皇のときに宮中を出て、20数か所もの地を転々とし、最後に伊勢国の五十鈴宮にご鎮座されました。その際、大和国から最初にうつられたのが但波乃の吉佐宮（籠神社）であり、約4年間、豊受大神と一緒に祭りされ、その約480年後、天照大神が豊受大神を真名井原から伊勢の地にお招きになり、現在の内宮・外宮の形になりました。



全国に元伊勢といわれる神社は数箇所ありますが、この籠神社のみが内・外両宮の元宮であり、社殿も伊勢神宮とほとんど同様の唯一神明造で、本殿の五色の座玉は他の神社には許されないものです。

【海部宮司家と海部氏系図】

籠神社の海部宮司家は、神社の始まり以来連綿として血脈一系で籠宮に仕えられ、神宝・古文書・口伝などを有しています。宮司家は、古来、海部直あまへのあたえと呼ばれ、丹波国造としての伝統を持ち、ご当主は82代目です。この海部宮司家が所蔵する通称海部氏系図は、平安時代初期のもので現存する氏系図としては日本最古のものとして、国宝に指定されています。

【五色の座玉】

座玉とは、本殿の高欄上に据え付けられた玉型の飾り金物の事で伊勢神宮のご正殿と籠神社の本殿にのみ許されたもので他の神社では見ることが出来ません。五色は、青・黄・赤・白・黒で、道教の陰陽五行思想の影響によるもので、木・火・土・金・水を表すと言われています。



【日本一の石の狛犬】

鎌倉時代の作で、重要文化財に指定されています。夜な夜な天橋立に遊びに出て、村人に魔物と間違えられ、剣豪・岩見重太郎に前脚を斬られました。それ以来は、社頭に還り、魔除の狛犬となったと伝えられています。他社の狛犬の形と違い、頭は小さく、胴体と脚が大きいく、どっしりと安定しているその姿は、静と動を同時に表現し、阿吽の見事な調和を見せています。



【天橋立の起源】

日本三景の1つで有名な天橋立は、籠神社の参道として発祥しました。神話によると、真名井神社にお祭りするイザナギ・イザナミの国生みの神様たちが、天と地を行き交うために、立てたはしがが倒れてできたと伝えられています。

【天橋立温泉】

重曹泉で、ナトリウム・カリウムなどの湯イオンが多く含まれます。ナトリウムを多く含む温泉に入浴する事により、体の芯まで温まり、リウマチや神経痛などの痛みを伴う疾患に効果があります。また重曹泉は、古来から美人の湯といわれるように、肌のきめを細かくして美肌を作る作用があります。



宇治平等院

宇治支所 久保田和子

「宇治」といえば、「平等院」。

10円玉の裏側に刻印されていることから、日本人なら誰もが知っている。今回は、この平等院界隈を散歩道を選んでみた。

平等院は、ときの権力者藤原道長が左大臣源重信の婦人から譲り受けた別荘を、その子頼通が1052年に仏寺としたものである。そのため、寺というよりも別荘の雰囲気があり、京都市内の神社仏閣とは一味違った雰囲気を醸し出している。市内の喧噪とは無縁であり、まさに、平安時代にタイムスリップしたかのような風景である。



京阪宇治駅から、宇治橋（平素は静かなたたずまいを見せている橋であるが、毎年8月10日に行われる宇治川花

火大会では、この橋は多くの人で埋まり、全く別の一面を見せる）を渡り、宇治川に沿って歩いていく。

橋のたもとには、宇治十帖にちなんで紫式部の像が建てら

シリーズ おすすめ散歩道

れている。心地よい風に吹かれながら、平等院表参道を歩き、橋橋を渡って中の島に渡る。そこには、宇治川先陣の碑が建てられており、犬と散歩をする人や、釣りをする人、家族

連れ、カップルなどがのんびりと遊んでいる。ベンチに座って、水の音を聞きながら、川の流れを見ていると時間のたつのを忘れる。そこでしばらく時を過ごし、塔の島から喜撰橋を渡り、あじろぎの道を歩いて平等院へ向かう。途中に観光センターがあるので、ここに立ち寄って一服するのも良い。

そぞろ歩いているうちに、うっそうとした緑のなかに平等院が現れてくる。この境界は、昔の趣そのままである。電車の駅からわずか数分の所にこんな世界があることが不思議に感じられる。



帰りはお茶屋さんが軒を連ねる参道を通り、「おもしろ民芸館」を覗いた後、宇治橋商店街を歩く。安政六年創業の「中村藤吉本店喫茶室」にはいる。あいにく満席で20分ほど待った後、評判の抹茶パフェをいただいた。噂どおりのおいしい味で、お茶の香りがしつこくなく、アイスクリームとほどよくマッチしている。製茶工場を改築した人気の店には、入れ替わり立ち替わり観光客が入ってくる。ここで一息いれて、おみやげに夏期限定の「水出し煎茶」を購入し、店を出ると、JR宇治駅はすぐ目の前である。

一休寺

宇治支所 豊田 稔

一休寺を訪ねるには、いくつものコースがあるようだが、私はいつもJR京田辺駅を起点として歩くことが多い。

この道が、果して「おすすめ散歩道」にふさわしいかどうかは疑問の残るところだが…。

以前と比べると、車の通行が頻繁になってきたように思う。

ブーン、ブーン風を切って走るのはトラックが代表格だ。

昔は、この道中でも結構広がったに違いないのだが、今では道路の端を歩いてもハッとすることがある。それでも田舎は田舎。田圃があったり、田植や畑仕事をする人に出合ったり、心易く立話をしたり、都会では味わえない雰囲気が心を和ませてくれるのである。

車にさえ気をつければそれなりの楽しさはある。30分もした頃一休寺にたどり着いた。

静かである。澄み切った空気が心地よい。

さて、一休はトンチの名手であったし、元々、^{ひょうきん} 軽佻な人だった。“この橋、渡るべからず”の立札を尻目に幼少の頃、真中を歩いて通り抜けたという話。正月に鬨籠を掲げて「門松は冥土の旅の一里塚」といいながら歩いて人々を驚かした話。

とにかく、奇行、風狂の坊さんであったらしい。

鎌倉時代に荒れていた禪寺妙勝寺を再興したのが一休であり、寺の名前も一休寺でひろまった。

後小松天皇（1392）を父に生れ、父の顔も知らぬまま6才の時、母とも別れて出家。21才の時、崇拝していた師が他界



したのを苦に自殺を図ろうとしたが助けられ、後の師から「早合点は禁物、ひと休みしてから行動せよ」と諭されたことから一休の名がついたという。

「^{こきゅうあん} 虎丘庵」という小さな「いおり」がある。一休は晩年にこの狭い部屋で恋する^{しんにょ} 盲目の女性森女と暮らしている。

ありの儘の本音で貫きとおした一休は、二人の赤裸々な生活振りを書き残しているようだ。

88才の高齢でこの地で生涯を閉じた。皇族のため墓（^{ごひょう} 御廟所）は、宮内庁管轄である。

ここには、珍しい重要文化財がある。^{とうす} 東司（トイレ）なのでつい見逃してしまう。前田利常公が使用したこともあるという古いものだが、^{かわや} 厠が国の文化財に指定されたという例は聞いたことがない。

殿様が用を足す間、家来は外で槍を片手に^{しんご} 警護に当たったのだそうで、今も残る「^{やり} 槍掛」がそれを物語っている。

